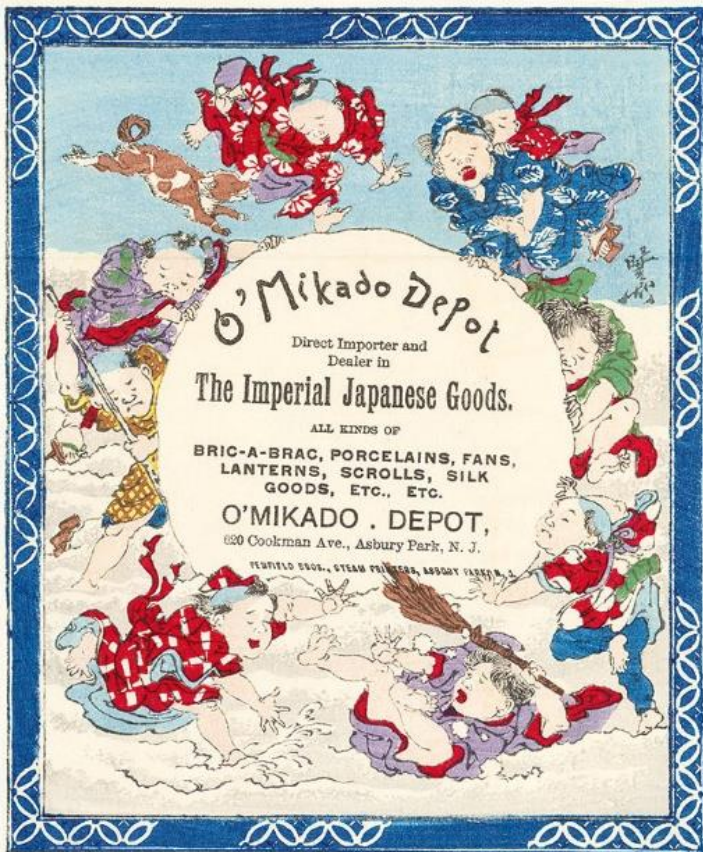


あつぎ郷土博物館NEWS 6月号

鋭意
準備中

特別展「アーネスト・サトウ、F・ベアト、八雲、暁斎で
知る幕末・明治」(仮題) ①

「画鬼」と呼ばれた絵師河鍋暁斎



▲『米国・日本物産商 “O' mikado Depot”
チラシ 一筆箋 子供の雪遊び』
藤田昇氏(權舟三郎コレクション)所蔵

幕末から明治時代にかけて日本で活躍した外国人等をテーマに、特別展「アーネスト・サトウ、F・ベアト、八雲、暁斎で知る幕末・明治」(仮題)を7月18日から開催する予定です。展示に向けて貴重な資料をお借りすべく、準備作業を進めていますが、準備中に素晴らしい資料がありましたのでご紹介します。

この版画の作者・河鍋暁斎(1831-1889)は、幕末から明治にかけて活躍した画家です。下総国古河(現在の茨城県古河市)に生まれ、安政2年(1855)10月2日に起こった安政江戸地震の時に、仮名垣魯文の戯文に描いた^{かながきろぶん}鯉絵「お老なまず」^{なまずえ}で出版の世界にデビューしました。その後、戯

画・諷刺画の浮世絵も多く手掛け人気を博しました。暁斎は、お雇い外国人として来日した英国人のジョサイア・コンドルを弟子とし日本画を教えたことでも有名です。他にも多くの外国人との交流があったことで知られています。ご紹介する資料は、本邦初公開となる『米国・日本物産商 “O' mikado Depot” チラシ 一筆箋 子供の雪遊び』です。米国ニュージャージー州で日本の物産を取り扱う貿易商の宣伝用のちらしです。雪遊びをする子どもたちを躍動感があふれる筆致で、ユーモラスに可愛らしく描いています。

7月18日からの展示では、幕末・明治期に来日した外国人のみならず、海外にも多大な影響を与えた暁斎の絵画を多数出品します。お楽しみに。

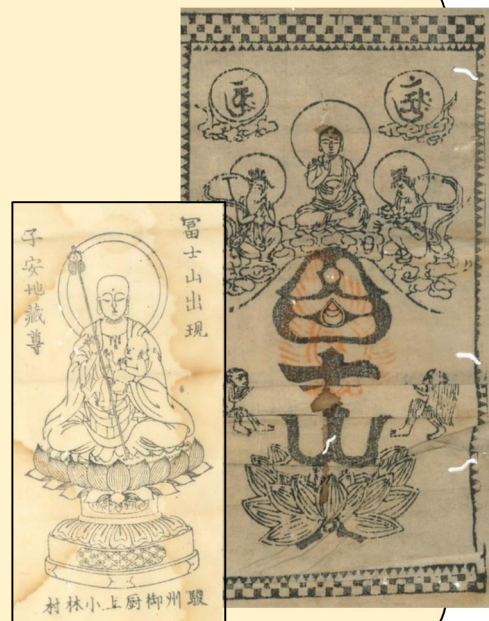
あつぎ郷土博物館 6月の予定

日	曜日	行事内容	講師等	時間
博物館が一つの地域に取り組む「小鮎地域展」は21日まで開催 *毎週土曜は13時半から担当学芸員が、土曜ギャラリートークを実施!				
6	土	地域展ギャラリートーク 小鮎 ⑦	当館学芸員	13:30 ～14:00
11	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読 会 会員	13:00 ～16:00
13	土	地域展ギャラリートーク 小鮎 ⑧	当館学芸員	13:30 ～14:00
18	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読 会 会員	13:00 ～16:00
20	土	地域展ギャラリートーク 小鮎 ⑨	当館学芸員	13:30 ～14:00
25	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読 会 会員	13:00 ～16:00
29	月	休館日		

学芸員の
おススメ

● 戸田・大貫家のパンテオン

2021年、多数の古文書が戸田・大貫友一様から寄贈されました。中には30以上の寺社から発行された多量のお札類が含まれていました。明治13年8月の「富士山泊中食道中記」等とともに「此花咲夜姫(浅間神社)」「御室浅間宮中宮薬師如来(社殿、二猿)」「阿弥陀三尊、二猿」など6種類の富士信仰に関連する図像、安産御守瘡瘡守(小御岳)、御洗米、御神水(富士山頂上)もありました。まさに、お札博士といわれたB・フランク氏が指摘する「パンテオン」(神殿、廟)の観があり、また戸田地区、大貫家の信仰地図でもあります。何を信仰し、どこにお詣りしたのか、神殿の神仏が伝えてくれます。次回、学芸員のおススメ展示で紹介します。



- あつぎ郷土博物館 **開館時間** 午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休館日 毎月最終月曜日 年末年始(12/28～1/3)
- 古民家岸邸 **開館時間** 午前10時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日と火曜日(祝日の場合は翌平日) 12/25～1/6



(申込み・問合せ) **あつぎ郷土博物館**
〒243-0206 厚木市下川入1366-4 電話 046-225-2515
Mail 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp FAX 046-246-3005